

石狩川河口

ここ100年の間に川と海・風の働きでできた、「はまなすの丘」。遠くは暑寒別連峰を望みながら、180種にもぼる植物を観賞できる絶景ポイントです。9月まで花が楽しめるハマナスや、今が見ごろのハマボウフウの群生など、この地ならではの自然が満喫できます。

第2位

個性豊かなのは花だけじゃない!!
葉と実

この時期、ついつい色鮮やかな花のほらばかりに目が行きがちですが、葉っぱも見ると個性派ぞろいで、面白い形をしたものがいろいろあるんですよ。さらによく見ると、6月に花の見ごろを終えた植物たちが実を結んでいるのも観察できます!



▲ハマヒルガオ
ハート型(腎心形)の葉が特徴で、大きさは直径2~3cm。花は直径4~5cmほどあり、果実は丸く、中に3個ほどの種子が入ります。

▶ハマハタザオ
細い棒状の実が集まって上を向くので、ホウキのよう。ピンとたった姿を旗ざおに見立てています。棒状の実の中には10~30個ほどの小さな種子が並べられます。



◀オオチドメ
葉は円形で、縁に浅いノコギリ歯があるのが特徴。葉っぱをちぎって傷口に当て、血を止めるのに使ったことから「血止め」の名前がついたのだそう。花は地味で目立たず、低く地面を覆うように群生します。

▼ハマエンドウ
サヤエンドウのような形からエダマメのような形へと熟していきます。茶色になると、中の種子がはじけます。



▲ハマナス
ご存知「市の花」は、6月が開花のピークでしたが、9月まで咲いています。7月下旬には、熟し始めた実も観察できます。

内藤さんからのお願い



- 石狩浜は市街地より気温が低い上に、風向きが変わりやすく、気温差も激しいので長袖を持って行きましょう。ドクガ対策にも!!
- 散策の際は、決められた場所を歩きましょう。もちろん車で植物の生えている場所へ乗り入れるのもダメ! 植物が踏みつぶされて、枯れてしまいます。

第1位

保護の成果でよみがえりました
ハマボウフウの群生

日本全国の砂浜海岸に分布しますが、各地で乱採が進み、減少しています。石狩浜には日本一のハマボウフウの群生があります。これは昭和53年に保護地区を指定して、採取を禁止したからです(保護地区以外ではほとんど見られなくなっていました)。ハマボウフウは7月いっぱいが見ごろです。石狩河口地域には湿原もあり、ノハナショウブやタチギボウシ、クサレダマなどの花が咲き誇ります。



◀ハマボウフウ
小さな花がボール状に集まり、さらにそれらが集まって傘状の花(花序)を付けます。山菜として親しまれていますが、乱採により全国的に減少しています。



▶クサレダマ

黄色い、小さな花を円錐状に付け、葉は3~4枚が輪生します。地中海地方に自生するマメ科低木のレダマに似た花を付けることからこの名が付いています。腐れ玉ではありません! 湿地に群生。

▼ノハナショウブ

濃い紫色の花を付ける「野生のアヤメ」。花弁(外花被片)の中央が黄色いところで、ほかのアヤメの仲間と見分けましょう。湿地に群生。



▼タチギボウシ

紫色のラッパ状の花を複数付け、遠くでもよく目立ちます。湿地の中に点在。



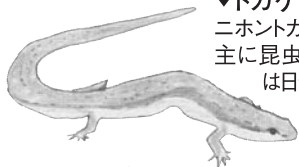
第3位

思わぬ姿に遭遇?
草原の小動物たち

石狩浜では、植物に集まる昆虫に加え、これらを食べる小動物も観察することができま。つまり、食物連鎖の各段階の生き物が暮らす石狩浜は、健全な生態系にあるといえるのです。こうした食物連鎖の鎖を断ち切らないよう、私たちはもつと生き物たちに思いやりをもって生活しなければならぬのかもしれない。

▼トカゲ類

ニホントカゲやニホンカナヘビが生息し、主に昆虫類を食べて暮らします。時には日光浴する姿が見られることも(ただし、夏は暑いので隠れてしまい、あまり見られないかも…)



▼キタキツネ

はまなすの丘では、キタキツネの掘った穴をあちこちで見ることができます。昆虫やネズミなどの小動物、秋には木の実も食べます。



▲トガリネズミ

モグラに近い仲間で、ミズなどの虫を食べます。海岸草原ではその死がい遭遇することが多く、これはその臭さのために、雑食性のキタキツネなども食べないのが理由。とはいえ、裏を返せば貴重な観察対象といえます。



遊

大人も子どもも自然の中で元気ハツラツ！ 厚田公園キャンプ場



緑あふれる山間に囲まれた自然いっぱいのキャンプ場。公園内を流れる小川のせせらぎが日ごろの疲れを癒してくれます。炊事場や水洗トイレの完備はもちろん、バーベキュー施設や遊具もあって、子どもたちも大喜び！

所 厚田村大字厚田村厚田公園内 期 5月1日～9月30日9:00～17:00
 料 大人200円、小学生以上100円、テント張りは別料金
 電 厚田公園キャンプ場 ☎78-2100

遊食感



私が
おすすめ
します！



厚田村役場 佐藤さん

あつた 巡り

10月1日、石狩市・厚田村・浜益村が合併し、新しい「石狩市」が誕生します。今月は、これから「わがまち」になる「あつた」の、夏のおすすめスポットを、厚田村役場まちづくり推進課の佐藤さんに紹介していただきます。



感

雄大な日本海に沈む 夕日にうっとり 夕日の丘



CHECK!!

日の入り時刻 (2004年データ)
7月1日 19:18
4日 19:17
11日 19:14
18日 19:18
25日 19:10

“じ～ん”と感動する夕日が見たくなったらココへ！きらめく水平線の向こうにオレンジ色の太陽が沈む様子は圧巻です。

所 厚田村大字厚田村厚田公園
(国道231号沿い)

食

海の幸をあれもこれもと 欲張りしたい人へ 厚田港朝市



新鮮な魚介類は一度食べたらかせになる…というわけで、ぜひ足を運びたいのが平成17年にリニューアルしたばかりの朝市。タコやカレイなど、生きのいい海の幸がずらりと並びます。漁港の活気にあおられて、思わず食欲も増す?!

所 厚田村大字厚田村厚田漁港
 電 石狩湾漁業協同組合厚田港朝市部会 ☎78-2006

3市村 合併記念

『いしかりふるさと探検隊 スリーラインキャンプ2005』

対象 石狩市・厚田村・浜益村在住の
小学校4～6年生

日時 7月30日(土)～8月1日(月)2泊3日

場所 石狩市・厚田村・浜益村各所

定員 60人(応募多数時は抽選)

費用 3,000円

申込・問合せ 石狩青年会議所・横井 ☎090-9916-2600
(平日10時～18時)

子育て支援課 ☎72-3631(平日9時～17時)

共催 石狩青年会議所、石狩市子ども会育成連絡協議会、石狩市、厚田村、浜益村

※案内文書(申込書等)は各学校を通じて配布します

楽しいことがいっぱい!!

- サイエンススクール
- ネイチャースクール
- キャンプファイアーほか

3市村 合併情報

厚田村・浜益村との 合併に向けて

10月1日の合併に向けて、厚田村・浜益村の職員とともに急ピッチで各種作業を進めています。

- ・合併後の条例整備(100以上の条例や規則を整備)
- ・電算システムの統合(戸籍・介護保険・水道料金など)
- ・案内表示や公共施設看板などの整備検討
- ・合併記念事業の検討(多くの市民が参加・交流する記念式典や講演、3市村の子どもたちの親交を深める事業など)

※合併記念事業は詳細が決まり次第、随時お知らせします

電 合併対策室 ☎72-3641

✉ gappei@city.ishikari.hokkaido.jp